

診療所だより 2019.5月号

歯磨き剤には2種類あります。化粧品扱いのものは基本成分の物理的な作用が主であくまでも清掃剤の成分が主です。もうひとつの方は、歯磨き剤のパッケージに表記されている薬用医薬部外品です。厚生労働省の承認基準に沿って配合されている効能や効果を有する成分です。つまり薬剤として効果が期待できる成分です。薬効成分を配合している歯磨き剤は製品やパッケージに薬用や医薬部外品と書かれています。さらに成分表に薬効成分と書かれています。5月17日(金)は都合により休診とさせていただきます。
 歯科医 山本圭子

医 科 (電話75-6100)

歯 科 (電話75-6105)

日	曜日	午前受付8:30~11:30 午後受付2:00~ 4:00		午前受付9:00~11:30 午後受付2:00~ 5:30	
		午前	午後	午前	午後
1	水	山本	小松	診療	診療
2	木	休 診 (救急・急患対応)		休 診	
3	金				
4	土				
5	日				
6	月				
7	火	伊黒	伊黒	診療	診療
8	水	伊黒	小松	診療	診療
9	木	小松	小松	診療	診療
10	金	小松	小松	診療	診療
11	土	休 診 (救急・急患対応)		診療	休 診
12	日			休 診	
13	月	山本	山本	診療	診療
14	火	山本	山本	診療	診療
15	水	山本	小松	診療	診療
16	木	小松	小松	診療	診療
17	金	小松	小松	休 診	
18	土	休 診 (救急・急患対応)			
19	日				
20	月	山本	山本	診療	診療
21	火	山本	山本	診療	診療
22	水	山本	小松	診療	診療
23	木	小松	小松	診療	診療
24	金	小松	小松	診療	診療
25	土	休 診 (救急・急患対応)		診療	休 診
26	日			休 診	
27	月	伊黒	伊黒	診療	診療
28	火	伊黒	伊黒	診療	診療
29	水	伊黒	小松	診療	診療
30	木	小松	小松	診療	診療
31	金	小松	小松	診療	診療

※医師の都合により変更になる場合があります。

※医科については土、日、祝日、夜間は急病・救急のみ対応します。(電話75-6100)

※令和元年5月1日(水)祝日ですが、医科・歯科とも通常診療いたします。また患者輸送バスも午前・午後とも運行いたします。

その 119 番電話 ちょっと待つて

島牧診療所 医師 小松正伸

のどかな春に縁起でもない暗い話と、言われそうですが、まあ読んでください。あなたは、死んでから見知らぬ男たちに服を脱がされ、まる裸にされて、あっちゃこっちゃと転がされて、体の表裏をくまなく見られ、口や鼻、お尻など穴という穴をすべて調べられて、最後には医者によって長い針で刺されて心臓の血を抜かれ、首の後ろからは髄液を取られ、膀胱から尿を抜き取られる、こんな死に方を望みますか？でもこれが、あなたたちの知らない、検死(視)の実態。あなたは親兄弟をそんな目に、あわせたいですか？

朝になっても親が起きてこない、見に行ったら息をしていない。こんな時、どうしますか？もしもあわてて 119 番通報をすると、すぐに救急車が来ます。ここでもう死亡していると判断されると、救急隊は警察に「変死」として報告

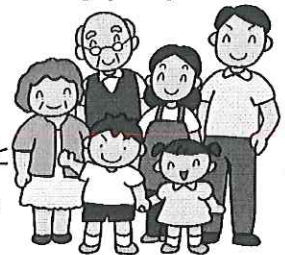


します。本来なら死亡していると診断できるのは医師だけなのですが、消防隊のこの判断の法的根拠は私には分かりません。変死体は検死(死体検案)が必要。なぜかという、亡くなった原因が病気なのか、それとも犯罪性があるのかを確認しなくちゃならない、警察は殺人事件かどうか確かめる義務があるのです。でもね、残念ながら検死をできる警察官は、このあたりにはいない。だから所轄の函館に報告して、そこで人を集めてから担当官が島牧に到着するまで、何時間もかかる。その間は現場保存の決まりから、家族は亡くなった人の部屋に入ることも触れることもできません。そのままずっと、ほったらかし。で、検死が自宅でできないときには、寿都の警察署まで亡くなった体は、連れていかれる。検死で事件が疑われるときには解剖のためにさらに札幌へ移されます。たとえ病死とされても病名が分からない時には、どこかの病院へ運ばれて CT 検査などをされます。亡くなった方は、なかなか自宅へ戻れない。へたをすると、翌日までかかるかもしれない。検死の手続きは、まことにややこしい。高齢で自然に亡くなった身内の人間には、安らかな死をと望んでいるのに、こんな死に方をだれがさせたいでしょうか？

すべては、あなたの 119 番通報から始まったのです。

では、どうしたらこんな悲しい筋書きを防ぐことができるでしょうか？

簡単です。まずは、家族の中でどういう最期を迎えたいのか、ふだんからよく話し合っておくこと。高齢になったら、もう延命治療は要らないという意味を、はっきりと確認する。主治医にこのことを、きちんと伝える。これだけで十分です。そしてなにかあったら、あわてて 119 番に電話



しないで、すぐに主治医に電話する。1月号にも書きましたが、なにかあったらいつでも診てくれるのが主治医。ここの診療所にいつもかかっている患者さんなら、急なことがあったと一報を受けた時、大体なにが生じたか推測ができます。動かせない時には、こちらからお家へ伺います。まず診察をしてから、どうしたらいいかを医師が判断します。

ふだんこの診療所に来ていない方は、自分の主治医に連絡してください。ここへ運ばれても、ほかの病院での病名や薬、そして治療の経過がまったく分からないので、亡くなったと確認しても、その原因が分からない。というわけで申し訳ないのですが、私は死亡診断書が書けません。どうしても、警察が入っての検死になります。私は遺言として、延命治療は不要、救急車は呼ぶなど、伝えていきます。もちろん、火事の際には 119 番。